

## おへんろ交流サロン

おへんろ交流サロンは、四国八十八箇所巡礼の途中、第 87 番札所の長尾寺と第 88 番札所の  
大久保寺の間にある無料休憩所です。この建物は、地元民のほか、「お遍路」と呼ばれる巡礼者た  
ちが、長旅の最後となる寺院に向かう前にしばしば訪れています。秘訣や情報を交換をしたい巡礼  
者同士のために、お茶や軽食が用意されており、また、近くのレストランや宿泊施設のリストが掲載さ  
れた、地図やガイドブックも用意されています。徒歩や自転車で八十八箇所の全寺院を巡った人は、  
ここで巡礼を終えたことを証明する証明書をもらうことができます。

旅行者が疲れた足を休める場所として機能する一方で、このサロンには、訪問客が四国巡礼の歴  
史について学ぶことができる展示室もあります。展示品には、江戸時代（1603-1867 年）の旅  
行記や地図、巡礼者が寺院を訪れたことを示すために使った木簡、八十八箇所の寺院の印や書が  
繰り返し記された納経帳、政府が発行した旅行許可証、何世紀も前の巡礼者が着ていた服などが  
含まれます。また、四国八十八箇所の寺院が示されたジオラマもあり、それぞれの聖地同士の距離  
や巡礼者が徒歩で移動する場合の長さを視覚的に表現しています。